

ソフトカバー、238 ページ

2014年8月15日刊行

1700円（税抜き送料込み）

振込先 ゆうちょ銀行

00280-9-5839

長瀬隆

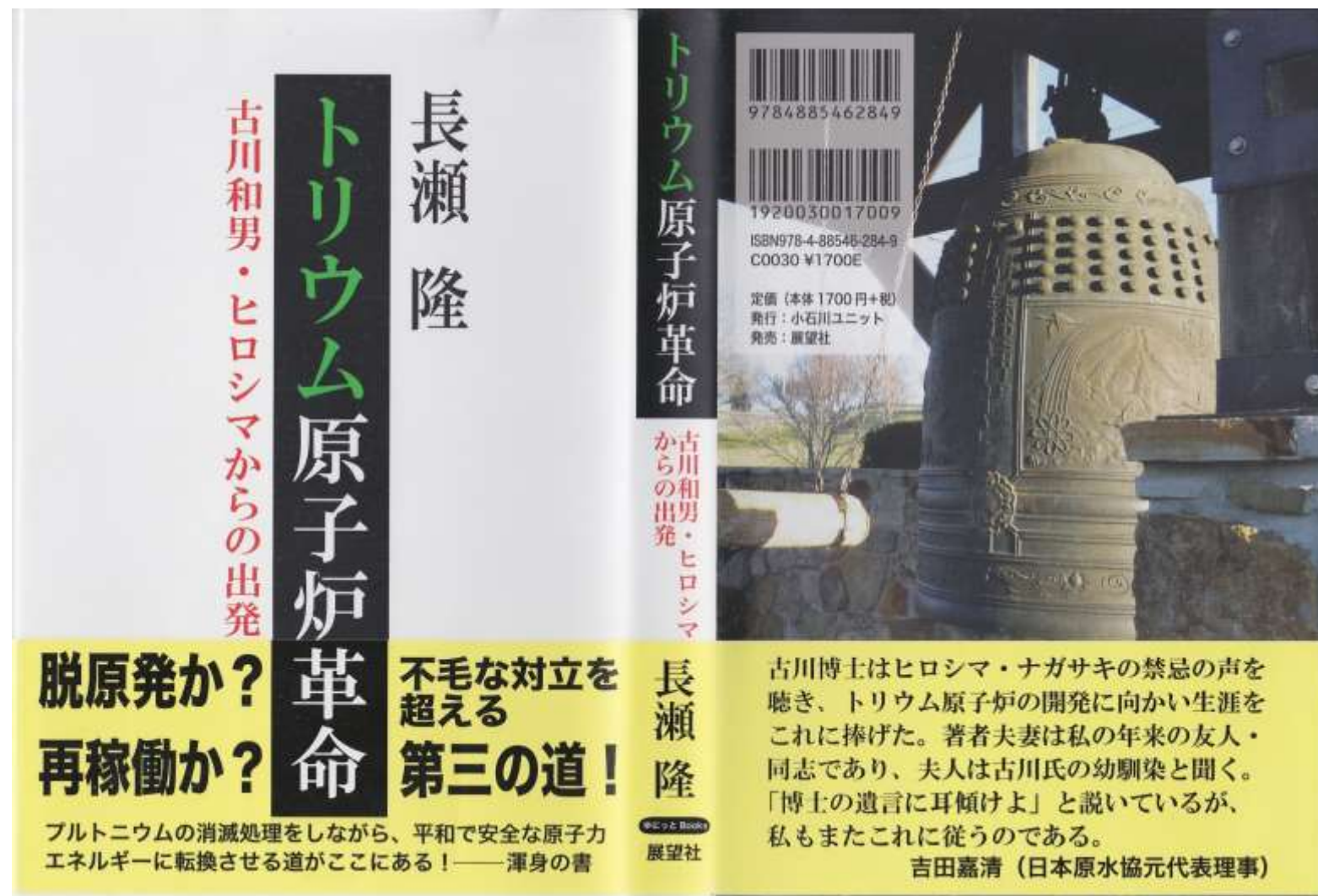
発注・問合せ先

tarbou.nagase@nifty.com

FAX. 044-855-3768

<http://nagasetarbou.my.coocan.jp/>

に関連記事・書評多数を掲載



これは科学書、技術書というより、古川和男という一人の科学者の小説ですね。この小説はすぐれた哲学、世界観に裏打ちされています。ドストエフスキーの小説を読んでいるようです。

「そして99年には当の和男氏が弟に案内されるようにして来客した。私は所用があったので挨拶ただけで外出している。もっぱらトリウム熔融塩炉について、ただそれだけについて話し、それ以外では尋ねたことに答えるだけだったという」（著書P.15）。

この部分は古川和男という孤独な技術者の姿をみごとに描いています。科学者によく見られる一徹さを暖かく表現しています。

それに被爆者の奥様のことが書かれています。このときあなたは『家内は』とも『妻は』とも書かず『わが妻は』と書いています。お二人を知っている私にとって、この言葉は感動的です。奥様をこよなく愛している、ということがひしひしと分かります。

大槻義彦（物理学）